



(発行)

*働きやすい職場をめざす
 (連絡先) ルネサス武蔵の会
 *東村山市恩多町3-11-18 谷口利男
 *電話・FAX ; 042-394-0937
 *メール; hitachikon@jcom.home.ne.jp
 *要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

処遇制度骨子について

処遇制度の骨子が提案されましたので、考え方を整理しました。

処遇制度について「職務をベースに構築」としているが、職務の選択は各人に自由度は少なく、組合見解の「安心して働ける制度」の実現を重視する。

評価制度は「公平性・納得性・透明性」が保証

できる制度にすべき。

資格制度での「役割重視」は、定義書との関連もあり、昇級基準が不明瞭になる恐れがある。昇級における在任年数など一定の目安を当初から設けるべきだ。

賃金制度を「役割給」に一歩化するものは大筋として理解できるが、現行の各種加算などの考え方も残してよいのではないか。

一時金制度は、賃金連動方式として「賃金政策」を実施

現させる立場を明確にする。60歳定年

前の「選択性」の導入は行なわない方向での検討が重要。

法定裁量労働の導入は既に導入済みのRHでも問題点の指摘あり慎重に検討をすべき。

再雇用制度は、RH制度の年金支給年齢までの方向で具体化する。

持家の扱いは、社内状況を十分調査したうえで制度化を検討すべき。

構内食堂の「個人負担額の設定」は、市場価格との関係で議論をすべきではなく、福利厚生の一環としての位置付けを明確にする。

カフェテリアプランを導入する時には、繰り越してできる制度を設けるようにすべき。等など

(「意見を寄せ下さい」)

集積回路

憲法改悪の動きが強まる中、9氏の呼びかけで憲法を守る「九条の会」が結成された。呼びかけ人はノーベル賞作家の大江健三郎氏、作家の井上ひさし氏、哲学者の梅原猛氏・鶴見俊氏、評論家の加藤周一氏など日本の知性を代表する顔ぶれ。その後、吉永小百合さん、永六輔さん、ちばてつやさん、桂米朝さんなど賛同者が続々と現れている。いま、「九条の会」の呼びかけに応え、全国で憲法を守る「会」結成の準備がすすめられている。九条をはじめ日本国憲法は、世界に誇るものであり、世界の進歩的な人々の規範となっている。多大な犠牲の中から誕生した、平和を希求する日本国憲法は重大な時を迎えている。

武蔵支部定期大会 職場意見が出される

7月29日の13時～16時30分、武蔵事業所の体育館で日立労組武蔵支部の定期大会が行なわれ、のべ12名の代議員から32項目の職場意見が出されました。その問答を概要でお知らせします。

処遇一元化は 安心できる制度に

- ・「移行時には現行賃金に見合った格付けを」に対し「賃金ベースを下げないように、移行処置を設けたい」
- ・「一元化に当たっては生活重視を求める」に対し「安心できる制度にしたい」
- ・「評価制度は公平性・納得性・透明性を」に対し「その通りと考えている」
- ・「資格決定には在任

年数の目安を」に対し「目安を設ける考えで行きたい」

・「賃金テーブルの改訂ができる制度に」に対し「春闘での交渉となるとの認識」と。

・「一時金制度は月数方式を」に対して「賃金にリンクはしないが、平均で出せる」

・「賃金政策の17ヶ月の確保を」に対し「賃金政策を確保する基本は変わっていない」

JT2試/組立の 業務移管問題

・「出向3年間の意味は」に対し「3年後に自動的に転属とはならない。効果・成果がわかる期間と認識しており、改めて論議をする」

・「移転後の交替勤務者の通勤方法は」に対し「現在労使協議中である」

シニア社員の 限定解除を

・「シニア社員制度の限定解除を」に対し「解除はすぐ出来る環境にないが、職場によっては人員不足もあり、個々のケースで対応したい。働きたい人には働けるようにしたい」

経営実態の公開を

・「経営実態を上場会社並に公開を」に対し「上場会社並には難しい。株

主は日立と三菱の2社であるが、組合は利害関係人であり、一体感が持てるように一定の公開を求めて行きたい」

職場環境改善 メンタル問題

・「カフェテリア制度は切捨てが多いので繰りこせる様に。使途制限しない制度を」に対し「使いやすい制度にしたい」

・「メンタルでの相談窓口の改善を」に対し「相談しやすい窓口を検討したい」

・「食堂の改善を」に対し「福利厚生連絡会の場で要望したい」

・「シャワー室の設置を」に対し「会社に要望したが、新設計棟は賃貸であり困難とのこと」

・「自転車置き場の改善を」に対し「労使協議の

場で検討したい」

・「一斉定時退勤日の労組のフォロウを月1～2回を」に対し「裁量勤務との関係で難しい」

労組の進め方

・「労組統一は情報公開を行い丁寧な対応を」に対し「支部を設けるかどうかなど三菱労組の違いがあるがよく相談して進めたい」

・「政治フォーラムの設置」に対し「労使で解決できない問題もある。組織として応援している。従来以上にキチンと説明をしたい。個人の政治信条を犯すものではない」

・「組合財政は繰越金が多いので組合費を下げられないか」に対し「決まりはないが2～3ヶ月分は必要」

(大会傍聴谷口記)

JT2試の組立ライン

転属含みの出向に不安

出向3年間 その後どうなる？

会社より、JT2試作ラインの（東セミ）への業務移管が発表され、組合員24名が出向の提

案が出されました。

該当職場では課長からの説明と組合との話し合いがもたれました。

職場では、出向に関して、同じ三多摩で通えない距離ではないし、自分の職場がなくなってしまう

うわけだから「しょうがない」とみんなあきらめてしまっています。

しかし、「残業したり交替勤務の場合会社から駅までのバスがあるのか」とか、「3年間出向でその後はどうなるのか」等の不安がだされ

自殺者が最悪の3万4000人

7月22日、警察庁がまとめた昨年1年間に自殺した人は過去最多の3万4427人となりました。特に中高年男性を中心に、負債や生活苦など「経済・生活問題」が動機とみられる自殺が前年より12.1%増と急増しています。また、40歳以上の中高年が全体の74.2%も占めています。

厚生労働省の労働者健康状況調査によると、仕事や職業生活で強い不安や悩み、ストレスを感じている労働者の割合は02年で61.5%に上がっています。さらに、同省によると自殺者の30～70%がうつ病にかかっていたと見られています。

心身ともに健康的な社会生活をおくれるようにしていきましょう。

「組合員の意見、要望を十分に聞いて、無理な出向にならないようにしてもらいたい」と出されています。

業務移管に対する 会社回答がでる

会社申し入れに対して組合が質問をして、会社回答がありました。会社回答によると、業務移管後、D2/1Fに試作専用スペースを設け、第二デバイス課に試作係を設置し、交替勤務は「原則として4直3交替を基本にする」と述べて

休憩室

白骨温泉

だましてはいけません
骨がぬかれちゃうよ
こすい事はいけないね

他人事ではない

います。

3年間の出向期間としているが、その後は転籍も含め対応したいと考えているとしています。

評議員会でも「メリット、デメリットを当事者に対して納得を得られるよう取り組んでいただきたい」と意見が出された事に対して「充分踏まえて対応をしていきたいと考える」との執行部答弁がされています。

職場だより

賃下げなしの 処遇制度改訂を

処遇制度の改訂の骨子が提案されているが、今までの基本能力給を考慮されない大幅な転換である。職場では具体論での論議もなく、自分の賃金がどうなるのかもよく分

憲法9条は日本の宝

アメリカから「憲法9条は 日米同盟の妨げになる」と公然と言われはじめた。「あらためて憲法9条を激動する世界に輝かせたい」と、大江健三郎さん、井上ひさしさん、三木睦子さん等9人のよびかけで「9条の会」がつくられ発足講演会は入場整理券にキャンセル待ちがでるほどの盛況でした。賛同者もどんどんふえています。

「憲法は学校で教わったきり」という人が多いことですが、もう一度憲法9条を読んでみましょう。世界に誇る日本の宝。 M子

からないのが実態である。現在の中高年は、その仕事で経験を つんで今の賃金となっているのだから現在の賃金に見合った格付けとなる制度にしてほしい。(K)

メンタル対策の 相談窓口に工夫を

日立全社の「非常事態宣言」を受けて、武蔵事業所にも03年9月に「メ

ンタルヘルス相談窓口」が開設された。毎週水曜日の午後に医師との相談ができる。組合の「相談状況」の問いに対して「一定数の相談がされている」と聞いているとの回答があった。職場では休職される人が多く発生しており、外部機関と提携した相談窓口の設置も大切ではないでしょうか。(Y)

我慢から挑戦へ

日立労組本部の根津委員長は、電機連合第52回定期大会(7月6日~7日)において「我慢を強いる労働運動から、組合

絵手紙でご挨拶



員の期待にこたえられるような労働運動への転換が必要である。我慢から挑戦の時代が始まったという事を申し上げたい」

と強調した。 今回のルネサス処遇制度一元化でもより良い労働条件を勝ち取りたいものである。(T)

編集後記

ルネサスの処遇制度の一元化について「骨子提案」がされ、今後具体化されようとしている。将来に係わる制度改訂であり職場討議をしつかりと保障して、十分納得できる制度にしましょう。(T)